

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふりーだむ 子ども支援センター		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32世帯	(回答者数) 23世帯
○従業者評価実施期間	2025年2月10日		～ 2025年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	連絡帳を通して、子どもの利用時の様子を十分に伝えることができ、保護者の方との情報交換や共通理解がしっかりとできたこと	保護者の方からの質問や近況報告には丁寧な返答を行うことを心がけ、一方的な報告にならない連絡帳づくりを意識して行った	現在連絡帳をととして職員と保護者の方のやりとりが活発になってきているところである 保護者の方の状況に合わせて事業所のLINEや電話も活用しながらよりよい連絡体制の構築に努めたい
2	子どもの支援と安全性を重視した職員の体制づくりを行っていること	送迎専任の職員を配置し、指導員や保育士が子どもの支援に専念できるよう配置を工夫している	十分な人員を確保しているため、さらなる支援の質やチーム力の向上を目指した事例検討会や研修を予定している
3	職員会議や研修を通して、子どもの支援の共有と統一化を図りチームアプローチに取り組んでいる	年間スケジュールで毎月の職員会議や研修はあらかじめ周知しており、見通しをもって参加できるようにしている やむを得ず参加できなかった場合には、後日書面等にて確認できるようにしている	来年度は新たな企画のもと、より支援力・チーム力の向上に役立つ研修を予定している また、常勤・非常勤が分け隔てなく外部研修に参加できるよう環境の整備を行いたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	土曜日の利用希望数にばらつきがある	保護者の方の就労状況に伴い、平日の利用希望に偏ってきていることや、イベント活動に希望が偏ってしまう傾向がある	職業体験や地域資源の活用など、土曜日にしか経験できない魅力的な活動を企画・提案していく
2	事業所の取り組みを地域に知っていただく取り組みができておらず、地域に開かれた事業運営があまりできていないこと	地域資源（公共の施設等）の利用は定期的にあるものの、地域の方との交流を目的とした活動ができていないこと	来年度は地域で行われる販売会（地域型マルシェや高校の文化祭）での出店を目指し、子どもと一緒にものづくりを行う予定にしている
3	保護者会や家族支援プログラムの企画を数年前より中止していること	以前は定期的に保護者会を企画していたが、参加者が集まらなかった経験から、担当者会議や個別面談を通して家族支援プログラムを実施している	保護者会の開催については改めて現在の利用者家族にニーズ調査を行い、保護者会や家族向け研修の再開を図りたい